

令和7年度同窓会定期総会及びその関連事業

岡田 嘉右衛門 〈77回卒〉

本校同窓会では毎年6月に同窓会定期総会を卒業後50年目の学年が担当になって卒業後25年目の学年とともに開催し、記念講演会及び懇親会を実施しています。令和7年度は私達77回卒生が担当になり、他12名の幹事とともに準備を進めてきました。

令和7年6月14日(土)に栃高同窓会定期総会・記念講演会並びに懇親会および77回卒同期会・102回卒同期会を開催しました。昨今の異常気象のため、本年度は梅雨時から猛暑になっておりますが、当日は小雨混じりではあるものの、大方曇りで我慢ができないほどの暑さではなく、希望者には総会前に校内見学をして頂き、冷房のない講堂でも定期総会を無事に開催できました。

定期総会は77名出席し、私が進行を務めました。まず初めに物故者に対する黙祷をし、松浦同窓会長の挨拶、吉田校長が栃高の近況報告を含めた挨拶の後に、総会議事のすべての項目について順調に進み、原案通り承認されました(写真1)。

本年度の記念講演会は77回卒で現在栃木県副知事の北村 一郎君を講師に迎え開催しました。北村君は昭和51年に本校を卒業した後、横浜国立大学経営学部に入學し、昭和55年3月卒業、すぐに栃木県庁に入庁、県庁内でいろいろな役職を経験し、平成30年に副知事に就任、現在2期目です。福田知事の下での、実務の最高責任者として活躍しています。下野新聞での「県政重要課題聞く2025」の記事でもトップバッターを務めています。今回は「とちぎ創成のこれまでとこれから」の演題のもと1時間にわたり、栃木県のいろいろな話題に関して、具体的な数字を挙げながら講演を頂きました(写真2)。

総会終了後の記念撮影は例年養正寮前で行っていましたが、今回は降雨のため講堂内にて同窓会長と校長先生と一緒に77回卒生が記念写真を撮りました(写真3)。50年前の新入生オリエンテーションや在学中の多くの集会に思いをはせ、懐かしく母校を感じることができました。

懇親会はサンルート栃木で行い、75名が一同に会しました。77回卒の渡沼則昭君の司会のもと、松浦同窓会長、吉田校長、77回卒ならびに102回卒代表が挨拶した後、乾杯の音頭で酒宴は始まりました(写真4)。年齢を超えて各所でいろいろと語らいがもたれ、最後に全員で校歌斉唱をし、懇親会は終了となりました。

その後77回卒生と102回卒生は別の部屋に移動をして、同期会を行ないました。77回卒の同期会は山中忠男君の司会のもと52名の出席者一人ひとりから近況等を述べ合いました。前回の同期会から6年ぶりの再会でしたが、50年前に戻り和気あいあいと高校時代の

思い出話等に花が咲きました。とても良い同期会になりました。再会を約束し、それぞれの
帰途につきました。